

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	新たにグループホームの理念を作成し事業所内に掲示しているが、理念の意識化が職員一人ひとりに浸透出来ていない。	理念を実現するため、まずは職員が理念の内容を理解し、達成できるよう行動する。	理念に掲げた項目を理解し、実践できているかを検証し職員全体の意識を向上して行けるようにする。	12ヶ月
2	4	運営推進会議では、構成メンバーに偏りがあり参加者が固定化されている。	固定したメンバー以外にも、ご家族や職員、入居者の参加を勧め、多くの意見をもらえるようにする。地域住民のきょうりよくを得て行きたい。	運営推進会議の議事録を出席できないご家族に送付する。年6回の開催について、出席できる回を確認し、参加も募集を進める。	12ヶ月
3	10	面会時や電話連絡の際に要望等を確認しているが、具体的意見が少ない。	ご家族にアンケート調査を実施し、気になっている事柄や意見を率直に伺える機会を設ける。	アップル通信をご家族に送付し、グループホームでの生活の様子や活動を理解していただく。	ヶ月
4	26	日常的なケアにあたる上で、ケアプランに示された内容を意識し、サービス実施記録に連動していく。	本人やご家族が望む生活ができるよう関係者の意見を取り入れる。サービス実施記録では、利用者の様子を共有し把握できるようにする。	カンファレンスやショートミーティングを活用し、少しでもその人らしい生活が送れるようケアプランを作成する。サービス実施記録により、細かい変化に気付けるよう取り組む。	ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。